

G30日本語教育 2015年度報告

国際教育交流センター国際プログラム部門

初鹿野 阿れ・徳弘 康代

1. 国際プログラム (学部) における日本語科目

2016年3月から、G30日本語教育部門は、国際教育交流センターの所属となり、国際プログラム部門・G30日本語教育となった。G30日本語教育は、主に、2011年秋学期に始まったG30国際プログラム(学部)の必修科目である日本語科目のコーディネートと教育を行っている。以下は毎年開講されている授業科目の一覧(コース名と主要教材)である。必修科目は1年次に行われるが、2年生以上で日本語を使って研究、就職を考えている学生にも、これらの科目は履修可能になっている。

<秋学期>

- ・総合日本語 1a・1b
- ・日本語セミナー(コミュニケーション) 1a・1b
『日本語初級1大地』
『Write Now! Kanji for Beginners』
- ・アカデミック日本語(文章理解・文章表現) 1
『大学・大学院留学生の日本語1 読解編』
『大学・大学院留学生の日本語2 作文編』
- ・アカデミック日本語(文章理解・文章表現) 3
『大学・大学院留学生の日本語3 論文読解編』
『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』
- ・アカデミック日本語(文章理解・文章表現) 5
『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』
- ・アカデミック日本語(聴解・口頭表現) 1
『中級日本語で挑戦!スピーチ&ディスカッション』
- ・アカデミック日本語(聴解・口頭表現) 3
『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』前半
- ・ビジネス日本語1
『新装版ビジネスのための日本語』前半
- ・ビジネス日本語3
『新装版商談のための日本語』前半

<春学期> (2015年4月~2015年9月):

- ・総合日本語 2a・2b
- ・日本語セミナー(コミュニケーション) 2a・2b
『日本語初級2大地』
『Write Now! Kanji for Beginners』
- ・アカデミック日本語(文章理解・文章表現) 2
秋学期と同じ教材の後半
- ・アカデミック日本語(文章理解・文章表現) 4
秋学期と同じ教材の後半
- ・アカデミック日本語(文章理解・文章表現) 5
『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』
- ・アカデミック日本語(聴解・口頭表現) 2
『もっと中級日本語で挑戦!スピーチ&ディスカッション』
- ・アカデミック日本語(聴解・口頭表現) 4
『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』後半
- ・ビジネス日本語2
『新装版ビジネスのための日本語』後半
- ・ビジネス日本語4
『新装版商談のための日本語』後半

2. その他の活動

毎年2月に行われる名大基金感謝の集いにおいて、名大基金から奨学金をもらっているG30の学生が行う感謝のスピーチの指導を行っている。その他、2016年2月から始まった名古屋大学短期日本語プログラム(NUSTEP)の日本語科目コーディネートの支援、四大学連携事業日本語講座(名古屋大学における日本語能力試験N2、N3対策講座、三重大学における週末サバイバル日本語講座)のコーディネート等も担当している。